

# 佐久から始めよう! わたしたちの身近なSDGs 第6回

SDGsという言葉ニュースや新聞などでよく聞くようになりました。SDGsはSustainable Development Goalsを略したもので、「持続可能な開発目標」と称した国際社会共通の目標です。では、実際にわたしたちはどんなことができるのでしょうか? 第6回は、日本家屋・古民家のリノベーションや解体・産業廃棄物での分別の徹底に取り組んでいる13リノベーション株式会社(金井旬也 代表取締役)の金井社長にお話を伺いました。

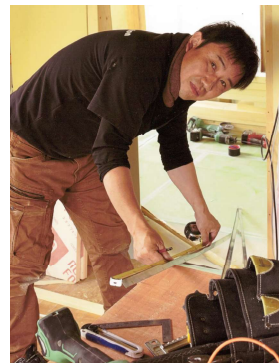
## 次世代へ残したい家へ 廃棄物のリユースでCO<sub>2</sub>削減

13リノベーション株式会社 (代表取締役 金井旬也)

### ■ 私たちにできること

当社はリフォームやリノベーションを中心とした工務店として、日本家屋や古民家の再生といった住まいを長く活用する事業を行っています。

SDGsと言うと大がかりな感じがしますが、最初はいくまで子供を持つ一人の親として未来の子供達のために、信州の自然豊かな環境を後世まで残したいという気持ちがきっかけでした。多くのものがあふれる消費社会の中で、私たちはリノベーションを通し「世界でいちばん環境にやさしい魅力的なまちづくりを実行する!」をテーマに活動に参加しています。



### ■ 解体で発生する廃棄物と真剣に向き合う

現在都市部では超高層ビルが並び、湾岸沿いでは工場群が休むことなく稼働し、戦後から高度経済成長期を経て現在の何不自自由ない私たちの生活や経済を支えています。

私たち建設業では、戦後から長らく建てては壊し、建てては壊しを繰り返すといったビルトアンドスクラップ工法が採用されてきました。最近の研究では、住宅の建て替え工事を行う際に排出するCO<sub>2</sub>の量はリフォーム・リノベーション工事に比べて約3倍に及ぶという結果も出ており、廃棄物の量はなんと約22倍にもなるんです。そのため、リフォーム・リノベーションでの解体・産業廃棄物における現場業務内での分別の徹底や解体の際に出る石膏ボード・コンクリート等の建材のリデュース・リユース・リサイクルを積極的に進めています。当社ではリユースモデル構築の一環として、リフォームをして出た廃材(木材)から柵・机などを造作しお客様にプレゼントする取り組みを行っており、好評をいただいています。小さなことかもしれませんが、出来ることから取り組んでいます。

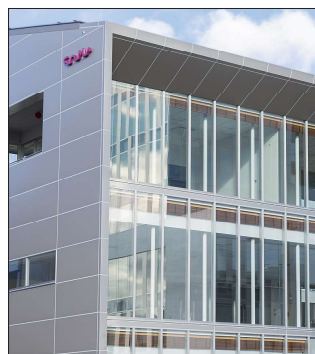
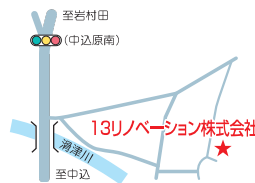
### ■ 先代の知恵、技法、工夫を次世代へ



また、多様な人材が活躍できる環境整備にも重点を置いています。当社では、60歳以上の実績がある方々がチームに加わり現場で活躍しております。リノベーション事業では、特にベテランの技術者の方が時間をかけて培ってきた知恵・工法・工夫が必要不可欠となるからです。また、その技術を次世代の建築に従事する若者に伝えることも重大な責務であると考えています。長く住み続けられる質の良い住宅を建て、メンテナンスをしながら住み繋いでいくことが、こういった環境問題を解決する一歩になり、SDGs社会に繋がっていかばいいと思います。私たちが子どもの頃からあったこの信州の素晴らしい自然環境と共存する家作りを推進していきたいです。

解体した際の床柱を再利用して、リモートオフィスデザイン。思い出の詰まった仕事部屋が完成

住所: 佐久市瀬戸 1673-1 TEL: 63-1070



「カーライフ」「農業」「暮らし」  
3つの事業を中心に  
信州の皆様生活をサポートしています。



相馬商事株式会社

【長野本社】長野市緑町 1629-24  
【佐久本社】佐久市野沢 1



1674-0100

# SOSHIN WAY

コミュニケーションの輪でつなぐ人と未来



双信電機株式会社  
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

WWW.soshin.co.jp